

○建築環境工学

試験区分：R8 後期学力	教科名：建築環境工学	問題番号：2の1 問1
建築環境工学に関する既学習範囲内の重要専門語句について、文章による読解能力と正確な知識を問う。試験担当者の出張に伴う代理採点の可能性を考慮して、採点が容易な語群からの択一選択式ながら、多くの小問を配して受験者の分野全般の知識を問う。		
(1)採光と伝熱分野に登場する立体角投射率の、採光に関する知識を問う。		
(2)採光分野に登場する立体角投射率の特性の理解を問う。		
(3)採光分野の各種測光量の特徴を問う。		
(4)採光分野の窓の採光特性を問う。		
(5)採光分野に登場する照明率の定義を問う。		
(6)採光分野に登場する天窓について建築基準法における扱いを問う。		
(7)日照・日射分野で勘違いしやすい太陽高度の単位を問う。		
(8)日照・日射分野で最も重要な太陽方位角の定義を問う。		
(9)日照・日射分野で各季節で特徴的な値をとる太陽赤緯に関する基礎知識を問う。		
(10)日照・日射分野で各季節で特徴的な値をとる太陽赤緯と日の関係を問う。		
(11)日照・日射分野で基本となる時刻系に関する基本知識を問う。		
(12)日照・日射分野で登場する各種時刻系の関係を問う。		
(13)日照・日射分野で重要なパラメータとなる経度に関する基礎知識を問う。		
(14)日照・日射分野で重要な世界標準時と平均真太陽の基礎知識を問う。		
(15)日照・日射分野で太陽位置を示す基本値の一つである太陽高度の知識を問う。		
(16)日照・日射分野で知っておくべき各方位の直達日射の特徴を問う。		
(17)日照・日射分野で重要なブリズソレイユ各方式の知識を問う。		
(18)日照・日射分野の日射遮蔽として典型的な各種ガラスの透過・反射の知識を問う。		
(19)日照・日射分野で知っておくべき各壁面方位の直達日射量の多寡の傾向を問う。		
(20)日照・日射分野で知っておくべき各壁面方位の直達日射量と季節の関係を問う。		

試験区分：R8 後期学力	教科名：建築環境工学	問題番号：2の2 問1
建築環境工学に関する既学習範囲内の重要専門語句について、文章による読解能力と正確な知識を問う。試験担当者の出張に伴う代理採点の可能性を考慮して、採点が容易な語群からの択一選択方式ながら、多くの小問を配して受験者の分野全般の知識を問う。		
(21)日照・日射分野で知っておくべき直達日射量と各時刻系の関係を問う。		
(22)換気分野で必要換気量の基準となる二酸化炭素と他の有毒ガスの関係を問う。		
(23)伝熱分野で影響の弱い木材・コンクリート熱橋の熱貫流率を求める方法を問う。		
(24)伝熱分野で影響の強い金属熱橋の熱貫流率を求める方法を問う。		
(25)光分野の色を特徴づける各種用語の基礎知識を問う。		